

ずっととなりに…

夏のお野菜。オクラ大収穫でした！！



子どもたちよりも大きく成長し、たくさんの実をつけてくれたオクラ。来所して下さった皆さんにも、楽しく収穫体験をしていただくことができました。参加された里親子さんや、ほだか・ゆうりんの子どもたちからは、「オクラって、こんなふうに見えるんだね」「白い花が咲くんだね」「オクラが食べられるようになったよ」「やわらかくて、おいしかったよ」と、嬉しい感想をたくさんいただきました。ありがとうございます。

次は……「大根」を大切に育てていきますので、ぜひ楽しみにしててください。

夏休みこどもワークショップ



昨年度に引き続き、今年の夏休みも里親さん講師のワークショップを開催しました。今回は「作ろう！ピンホールカメラ」小・中学生の子どもが参加してくれました。初め、里親さんは子ども達を見守りながら楽しくお喋りの予定でしたが…いつの間にか一緒になって夢中にカメラ作り！ハサミやカッターナイフを使った工作を親子で楽しめたという嬉しい感想もいただきました。完成したカメラで、室内や庭で不思議な映像を楽しんだり、お互いのカメラを交換して比べてみたりと楽しい時間になりました。講師が里親さんということで、場の雰囲気も穏やかで安心感があり、参加者同士の自然な交流ができたと思います。



ほだかの里 夏のイベント



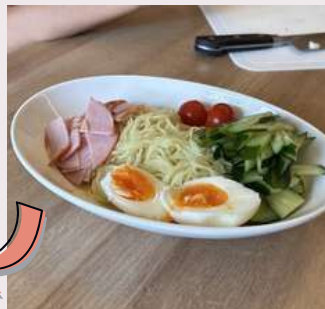
かわいい風鈴が出来ました♪



盛り上がったいも虫探し



みんなでいただきま〜す♪



自分で切って盛りつけ！

「ほだかの里de夏休み」

夏休みに入っすぐの7月23日、小学生向けのイベントを開催しました！風鈴づくりに、昼食作り、冷え冷えおやつ作り、虫探しと盛りだくさんの内容で、あっという間の1日でした。自己紹介の時はもじもじだった子どもたちも、おやつ後は暑中、誰からともなく外でみんなでも虫探しの夢中になっていました。里のスタッフも子どもたちと楽しい時間を過ごさせてもらいました。

「夏のお泊り会開催！」



ほだかの里にてお泊り会を行いました。プールでたくさん遊んだり、流しそうめんをしたり。夜は温泉でゆっくりした後に、みんなで夜更かしを楽しんだのもいい思い出。参加してくれた子どもたちの楽しそうな笑顔に、職員も元気をもらいました！



流しそうめん
上手につかめるかな？

「夏のキャンプ」

毎年恒例のキャンプに今年も行ってきました。名古屋を離れて、岐阜の大自然の中で思いっきりみんなで遊びました！ほだかの里キャンプは子どもたちの「やりたい」を叶えることをテーマにしています。今回は子どもたちから「おぼけやしきがしたい」ということで、別荘内に子どもたちが隠れ、スタッフたちを全力で怖がらせてくれました。他にもBBQや川遊び、釣り等をして過ごしました。一緒に火おこしを手伝ってくれる子、ご飯を運んでくれる子、小さい子の相手をしてくれる子、楽しく歌を歌ってくれる子、子どもたちのいろいろな面が知れて、とても楽しく過ごすことができました。夜になると、「ママが良い〜」と泣き出しちゃう子もいましたが、となりで見守っていると、その後はぐっすり眠っていく姿がありました。キャンプを通して、子どもたちの成長を感じられることも、スタッフの喜びになっています。秋にも同じ場所でキャンプを企画しています。夏とは違う雰囲気を楽しめると思うと今からワクワクしています。



家族を幸せにするパパの極意

夏休みに親子で足を運んでいただきました。子どもたちは工作やゲームを、パパたちはサロンにご参加いただきました。参加したほだかの里スタッフもパパ。パパ同士で「家族を幸せにするパパの極意」について語り合いました。女性スタッフも加わって意見交換を行い、男女の視点の違いについて、お互いに気づくような場面もありました。パパたちの家族を大切に思う気持ちがかっこよく、素敵でした。サロンの後はお楽しみタイムもあり、パパ同士で盛り上がりました。



令和7年度更新研修

今年度初めて、ほだかの里が更新研修の運営を行いました。里親登録して5年目、10年目…多くの里親さんにご参加いただきました。子育てするうえで「里親の孤立を予防しよう」「自分の応援団を作ろう」というポイントが大切であると考え、グループワークでは皆さんと意見交換を行いました。託児のお部屋では、お父さんやお母さんと離れて泣いてしまう子どもたちもいましたが、研修が終わるまで頑張っていました。

ほだかの里、自立支援始まりました

里親支援センターの新たな取り組みとして「自立支援」が加わりました。これまでセンターとして子どもたちの育ちや里親さんの養育を支えられるよう頑張ってきましたが、ここに自立支援が加わったことで、これまでの支援はもちろん、子どもたちが社会に出るための一歩を支える支援もしていきたいと考えています。

里親家庭では日々の生活の営みそのものが子どもたちの自立に結びついているという強みがあります。里親さんやその家族からの温かい愛情を受け、育んだものを基盤にして、子どもたちは自分の居場所を社会の中でつくっていくことでしょう。その道のりは平坦なものではないと思いますが、どんなときも里親さんや子どもたちに頼りにしてもらえ「ほだかの里」でありたいと願っています。

子どもたちが自信をもって巣立ちを迎えられるよう、つまづいたときは相談に来てもらえるようなセンターを目指して頑張るべく考えています。どの子にとっても自分らしい未来が描けるよう、これからも力をあわせて取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



～啓発活動のご報告～

今年度の夏から現在までに行った啓発活動についてご報告いたします。8月1日から8月29日まで、名古屋市守山区の志段味図書館にて写真パネル展を開催しました。来館された方からは「家族について改めて考えさせられた」「とても感慨深い展示だった」といったお声をいただきました。写真を提供して下さった多くの里親さん、そして開催にご協力くださった志段味図書館の皆さまに、心より感謝申し上げます。さらに、今後も名古屋市内の公共施設などで写真展示を予定しています。



☆今後の展示予定

- ・10月31日～11月28日 西区役所
 - ・11月 4日～11月28日 中川区役所
- 令和8年
- ・1月 9日～ 1月31日 千種図書館
 - ・2月16日～ 2月27日 瑞穂区役所

是非お越しください

○動画配信

啓発活動の一環として、里親さんへのインタビュー動画を制作し、YouTubeやTikTokで配信しています。それぞれの里親さんの思いや実際の養育の様子を通して、より多くの方に里親制度を身近に感じていただけるよう取り組んでいます。これからも、地域の皆さまと一緒に、子どもたちを支えるあたたかな輪を広げてまいります。

さとぼっぼ 援助者紹介 vol.7



鈴木 尚巳

ぐるーんの抱っこボランティアをきっかけに、訪問ボランティアの活動を知りました。少しでもお手伝いさせて頂ければと思っています。ボランティアの交流会に参加させて頂くと、いろんな経験を伺う事ができ、活動の学びになっています。これからもよろしくお願い致します。



些細な幸せ

「なんでお前が担当なんだ！」「担当職員を変えてくれ！」
児童養護施設に勤めて1年目の私は、当時担当していた中学生の男の子と衝突し、このような言葉を浴びました。
きっかけは、その子が楽しみに取っていたカップラーメンがなくなり、私が軽い気持ちで「カップラーメンの一個くらい、私が軽い気持ちであげるよ」と言ってしまったことでした。同じ部屋には、他の子のものを盗ってしまう子がいたため、もしかしたら盗られたのかもしれない。
その子にとって、カップラーメンを食べることは、ささやかな日常の幸せだったのだと思います。それが叶わなかった絶望感、安心して過ごせない不安、人のものを盗ることへの怒りなどさまざまな気持ち重なって、私にあの言葉をぶつけたのだと思います。今思い返すと、一緒に見つかるまで探して、見つからなければゴミまで漁ってでも探してあげられたらよかったのに、と思います。しかし、あのときの私は、それができませんでした。
生まれ育った環境が違えば、価値観も違う。大事なと感じることも違う。頭ではわかっていても、実際には理解しきれていなかったのだと思います。子どもが大切にしているものや、些細な幸せを一緒に感じ、寄り添うこと。それが子育てには何より大事なのだと、あの出来事が教えてくれました。

浅井

ほだかの里11月・12月の予定

- ・新規里親交流会…11月9日（日）
- ・さとカフェプラス…12月7日（日）
- ・秋キャンプ…11月15日（土）～16日（日）
- ・ひだまりRoom(サロン)…12月20日（土）
- ・ワークショップ（寄せ植え）…11月26日（水）

10月現在決まっている予定になります。
詳しくは順次公式HP・LINEでお知らせ予定です。
皆さんの参加お待ちしております。

ほだかの里カレンダーは
こちらから →



里親支援センター ほだかの里

〒459-8003 名古屋市緑区大高台二丁目1718

TEL : 052-693-5613 Mail : hodakanosato@yuuringakuin.or.jp

受付時間：月～土 9時～17時（水曜・祝日・年末年始除く）

※ほだかの里の催しについては、ほだかの里公式LINEからお知らせしています。
参加を希望される方は、公式LINEにご登録ください。

